

## 労働関係法令の立法史料研究（労働組合法関係）

### [研究メンバー]

主査	渡辺 章	筑波大学名誉教授
	野田 進	九州大学法学研究院教授
	和田 肇	名古屋大学大学院法学研究科教授
	野川 忍	明治大学大学院法務研究科教授
	中窪裕也	一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授
	土田道夫	同志社大学法学部・法学研究科教授
	竹内（奥野）寿	立教大学法学部准教授
	富永晃一	信州大学経済学部准教授

### [報告書目次]

#### 第一章 昭和 20 年労働組合法

- I 昭和 20 年労働組合法案の起草および帝国議会の審議経過概要
- II 昭和 20 年労働組合法の草案審議および成立

#### 第二章 昭和 24 年改正労働組合法

- I 昭和 24 年労働組合法改正の経緯及び GHQ 勧告、第 1 次案から第 12 次案までの概要
- II 総則・刑事免責解題
- III 労働組合・民刑事免責解題
- IV 団体交渉解題
- V 不当労働行為解題
- VI 労働協約解題
- VII 労働委員会解題
- VIII 雑則・罰則・附則解題

### [内容要旨]

本研究は、旧労働組合法（昭和 20 年法律 51 号）およびその改正法である現行労働組合法（昭和 24 年法律 174 号）について、旧労働省所蔵の立法史料を基に、同法の各規定が、どのような考えの下に、どのような審議経過をたどって成立し、また現行改正法に至ったのかを隈なく洗い出し、立法時の趣旨、目的、問題とされた事項等を実証的に追跡、研究したものである。